

混迷する世界と日本の使命

― 財政学からのアプローチ

東京大学名誉教授 神野直彦

- * アメリカの中東戦略の失敗
- * 太陽の没するオクシデントの没落
- * ユーロ危機というギリシャ悲劇
- * 格差問題というもう一つの壁
- * オリエンツの陽は昇るのか
- * 危機における日本の使命
- * 所得税解体戦略の日本
- * 経済成長と社会保障の関係
- * 社会保障のビジョン的改革
- * コモンズ再生に舵を切る



浅野 それでは開会いたします。（拍手）

明けましておめでとうございます。この一年、45回ぐらい講演会があると思いますが、今年は全部出席された方には何か賞品でも差し上げようかなどと思っておりますので、（笑）せいぜいお出かけいただければと思います。

毎年、お正月のトップバッターにはどういう講師にお願いしようかと悩みます。最近では、藤本隆宏先生とか宇沢弘文先生とかのすばらしい講師にお願いしてきました。宇沢先生は奥様の言葉をお借りするといいかげんなお話をされますが、（笑）最近ちょっとお体をこわされておられるのでお願いできないということで、宇沢先生の志を継ぐ、私の尊敬するお一人ということで神野さんをお願いしました。財政を含め

て地方の問題に取り組んでおられますが、安倍政権に代わっているいろいろな変化もあり、その辺の話も伺えればと思います。今日は新年第一回ということもあり、大きく「日本と世界」ということとお話が伺えることになりました。

前回の講演では力が入られて最後に質問の時間がなかったので、今日はぜひ質疑応答もお願いしたい。それでは、神野さん、よろしくお願いたします。（拍手）

神野 ご紹介にあずかりました神野でございます。よろしくお願いたします。

私が浅野理事長からご指名を受けたときに、宇沢先生にいつもお願いしていたんだけれどもご健康上の都合などがあり、代役を務めるようにということ、團十郎の代わりを私のような